

1. 「教採合格体験記」(札幌校)
2. 先輩からのメッセージ(函館校)
3. 【コラム】情熱大学
4. 教員採用試験「面接の変更点」について
5. 合同企業説明会を開催しました!
6. 前期全学就職支援セミナーのお知らせ

「教採合格体験記」

札幌校 教員養成課程 芸術体育教育専攻 **吉本 ひなの** さん
(教員採用試験 札幌市・小学校 合格 平成31年3月卒業)

○小学校教員を希望した理由

私は幼いころからずっと教員になることを夢見ていました。また、子どもが好きで、人に何かを教えるということにもやりがいを感じていました。大学では音楽教育を学んでいるため、より専門性を生かすことのできる中学校や高校の教員を目指すという選択肢もありました。しかし、小学校の教育実習で、自分の関わりによって子どもが笑顔になったり成長したりする姿をみて、子どもの成長により長いスパンで関わることのできる小学校の教員に魅力を感じ、受験することに決めました。

○教員採用選考検査対策について

私は、筆記試験も面接試験も両方とも自信がなかったので、3年生の11月頃から少しずつ試験対策を始めていました。今考えると、早い時期から始めたことが合格につながった一番大きな要因だったのではないかと思います。

一次対策では、学習指導要領を中心に穴埋め問題に繰り返し取り組み、知識を頭に叩き込みました。学習指導要領が新しいものになるので、受験生の皆さんは、どちらにも目を通し、どこが変わったのかを確認しておくことをおすすめします。また、専門科目と教職教養は出来るだけ早く始めるべきだと思います。これらは覚えた分だけ点数につながるので、試験勉強へのモチベーションアップにも繋がるのではないかと思います。

二次試験は試験科目が去年より減った分、一つ一つのウエイトが高くなるので、こちらも一次対策とほぼ同じタイミングで対策を始めました。特に面接では面接ノートを作り、過去の質問内容をもとに自分の考えを書き、書いて

たものを元に話す練習をしていました。また、面接練習も何度も行いました。大学で行われているものに積極的に参加し、友達同士でも何度も練習をしました。回数を重ねることで話すことに慣れ、咄嗟の質問にも答えることができるようになりました。周りの友達と協力しながら試験対策を行うことで、たくさんの収穫が得られると思います。



○試験期間のモチベーションアップの秘訣

試験期間中も、他の活動をセーブすることはせず、好きなことを好きなだけやりました。私は4年生になってはじめてよさこいに挑戦したのですが、試験勉強の合間の良い息抜きになりました。楽しみや息抜きがあるからこそ勉強にも身が入るのだと思っています。もちろん、空き時間は全て勉強に費やしましたが、自分が好きなことを試験勉強があるからといって諦めないでほしいと思います。

○後輩へのアドバイス

試験勉強はなるべく早く始めることをおすすめします。そして早く始めた分、自分のやりたいことにも挑戦しながら後悔のない大学生活を送ってください。周りの友達と協力しながら対策をすると、実りある試験勉強ができるのではないかと思います。頑張ってください!

『先輩からのメッセージ』

新千歳空港ターミナルビルディング株式会社 佐々木 柚香 さん
(函館校 国際地域学科 地域協働専攻 地域政策グループ 平成31年3月卒業)



○学生時代に打ち込んだこと

学生時代に打ち込んだことは、地域へ出向き交流したことだと思います。1年生の時はサークル活動、2年生からはゼミ活動で地域活動を行いました。1年生のときのサークル活動では、道南地域の土木遺産を新たな観光資源として活用するため「コンクリート物語」の冊子の制作に取り組みました。2年生からのゼミ活動では、地域政策研究室で地域政策の基礎を学ぶと同時に、江差町の方々との交流に力を入れていました。特に江差町で開催される姥神大神宮渡御祭への参加は、事前準備から祭り終了後の片付けまで熱心に取り組んでいました。地域の方々と交流して得た、コミュニケーションのとり方は勿論の事、相手から情報を聞き出す、把握する、物事を説明する力は就職活動でもとても役に立ちました。

○民間企業を志した理由

大学入学当初は公務員と民間の併願も考えていました。しかし、学生生活を送る中で行政関連の方々と交流をさせて頂いた経験や仕事内容から、自分には公務員は向いていないのではないかなと思い始めました。ですが、私が勉強している地域政策は正に公務員へ直結する分野だったので、折角であれば専門分野を生かして働きたいという気持ちもありました。これらの事をゼミの先生に相談した際、行政だけではなく、民間でも地域政策に関する知識を持っている人が必要になる場面が絶対にあ

るというアドバイスを頂きました。先生のアドバイスとお話から、自分の地域政策に関する知識を民間で生かして働いてみたいと思ったことが民間企業を志した理由です。

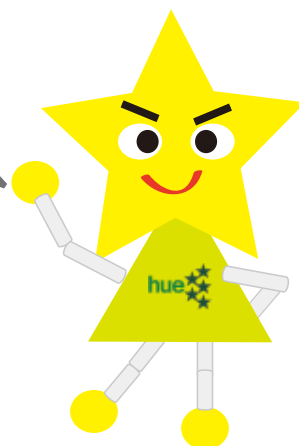
○民間企業を目指す後輩へのアドバイス

3月1日の就活情報解禁と同時に、合同企業説明会や単独説明会への参加、SPIの対策、履歴書・エントリーシートの作成などやらなくてはいけないことが山積みになります。やらなくてはいけないことが多すぎて、くじけそうになることが沢山あるかもしれませんが、一つ一つ落ち着いて、計画的にこなしていけば必ず終わりますし、就活のスケジュールにも段々と慣れていきます。自分だけが取り残されているなんて事は絶対にありませんし、同じようなことで悩んだり困ったりしている友達もいます。就活は個人だけで頑張るものだとは思わず、友達やキャリアセンターの先生に相談してみてください。何か解決策が見つかるはずです。

就活頑張らなきゃと言う気持ちだけで数ヶ月間を突っ走るのではなく、息詰まったときには友達と話したり、ご飯を食べに行ったりして適度に息抜きをしながら就活を乗り切ってもらえたらと思います。



先輩からのアドバイス、
参考にしてみてね!





「社会人としての基礎力」を学び続けよう

岩見沢校相談員 稲村 征紀さん

私は、学生の皆さんと一緒に就職活動を考えるようになってから結構長くなりましたが、毎日ハラハラ・ドキドキしながら勤めております。



就職活動する皆さんからの声の多くは、「良い会社へ」「不慣れな仕事は避けたい」「給与は高額で」などです。私からすると基準は不明です。しかし皆さんが、希望に近づくためには、昨今の変化激しい社会に身を置くことに勇気を持つことであり、そして、絶えず「社会人基礎力」を身に着ける努力をし続けること、であろうと思います。このことは結構大変です。

特に、社会人になると「前に踏み出す力」「考えぬく力」「チームで働く力」などの「社会人基礎力」を求められます。例えば「チームで働く力」で想像し易いのは「コミュニケーション力」とか「リーダーシップ」ですが、いわゆる個人のふるまいだけでなく、常に化する相手や状況を前に、それらに対応する能力を重視されるということです。

これらの勉強を日頃から心掛けておくと、社会人になってからの3年後、5年後の飛躍が楽しみです。

いずれに致しましても、企業の方々からは、北海道教育大学卒業生は根気あり、仕事振りも申し分なく、引き続き一緒に仕事したい、との声を良くお伺いします。

自信をもって就職活動してください。

教員採用試験『面接の変更点』について！

全国の教員採用試験は人物重視の考え方を基本とし、面接評価が重視されています。北海道・札幌市もこの考え方を重視して面接を行ってきましたが、登録すべき人物かどうかをより丁寧に見極めるため、平成30年度実施の検査より面接方法を変更しました。

具体的には、従来行ってきた個別面接と集団面接のうち集団面接を取りやめ、個別面接を個別面接Ⅰと個別面接Ⅱの2回に増やすことで、より多くの面接員の目で受検者の適性を見極めていくものです。

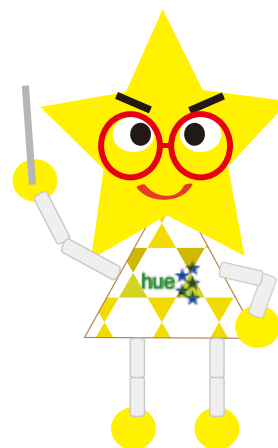
個別面接の内容も、従来行っていた「模擬授業（教諭）」「場面指導（養護教諭）」は行わず、一般面接の形で、より掘り下げた質問が行われます。

平成30年度は、出願の際に提出する「自己推薦書」の様式に変更はありませんでしたが、これまで以上に記載内容に関する深い質問が行われます。また、受検者を困らせるような質問もあるでしょう。

検査のための準備だけでは、全く通用しません。教員としての資質・能力を高めることを念頭に置き、先生になるための土台をしっかりと固めておくことが大切です。子どもたちのための良い先生を目指してください。



面接は慣れることが
大切！友達同士でも
練習してみよう！



合同企業説明会を開催しました!

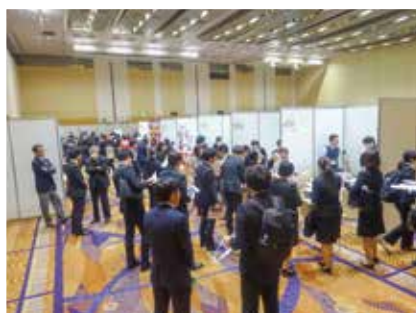
平成31年3月4日(月)、ロイトン札幌において北海道教育大学合同企業説明会を開催しました。

これは、企業・官公庁への就職を目指す2020年3月卒業・修了予定者を対象に行われたもので、企業等50団体、本学5キャンパスから学生230名ほどが参加しました。

当日は、キャリアセンター長の挨拶の後、それぞれ興味のある企業のブースへ赴き、熱心に話しを聞く学生の姿が見られました。

参加した学生からは、「志望先の候補が増えた」、「様々な業界が集まり、比較しながら参加できた」、「HPなどに載っていない細かな内容について聞くことができた」等の感想があり、好評を博しました。

採用担当者からは、「意欲的な方が多く、大変良い印象でした」、「意識が高い学生さんが多かったです」等の感想があり、学生に大きな期待が寄せられました。



前期全学就職支援セミナーのお知らせ

2019年度 前期全学キャリア支援講座スケジュール

前期キャリア支援講座(就活入門編)

	タイトル・内容
第1回	スタートアップガイダンス 就職活動って、そもそもいつ・どんなことをすればいいの。この講座では、就職活動のスケジュールから、今から準備しておくべきことなどについてお話しします。
第2回	インターンシップについて 就職活動において重要性が増しているインターンシップ。この講座では、インターンシップはなぜ重要なのか、参加するに当たって、どの時期にどのようにして申し込めばよいのかなどについてお話しします。
第3回	自己分析について 就職活動を行う上で、自己分析は欠かせません。この講座では、自己分析はなぜ必要なのか、どのように自己分析を行えばよいのかなどについてお話しします。
第4回	業界・企業研究について 就職活動を行う上で、自己分析同様、業界・企業研究も重要です。この講座では、業界・企業研究はなぜ必要なのか、具体的にどこに注目し、何を調べれば良いのかなどについてお話しします。
第5回	ビジネスマインド・ビジネスマナーについて 夏のインターンシップ等、これから社会人と直接接する機会が増えてきます。この講座では、学生生活ではなかなか意識しない、社会人としての心構え、社会人のマナーなどについてお話しします。

※実施日程・講師等については、各校の掲示板をご確認ください。

※上記は予定であり、講師等の関係により変更する場合があります。

